

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体と鴨居へのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、5ページの建付け調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

■取付け上のお願い

- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~170mm)、3枚建・片引き2枚建は壁厚(146~176mm)、片引き3枚建は壁厚(186~216mm)に取付けられます。
- ノンケーシングタイプNC90は壁厚(50~75mm)、NC115は壁厚(76~100mm)、NC156は壁厚(116~130mm)、NC171は壁厚(131~145mm)、NC180は壁厚(146~160mm)、NC210(片引き3枚建)は壁厚(170~190mm)に取付けられます。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないように(特に中縦枠)注意してください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 本体は落下させたり、立てかけるときに衝撃を与えないでください。戸車部の樹脂部品がキズ付き、開閉に支障をきたす原因になります。
- 片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 敷居の納めに応じて縦枠を切断してください。 **■縦枠の切断**

薄敷居	切断不要
埋込敷居	切断(12mm)

■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

■枠セット

		引違い	片引き	引分け	3・4枚建	片引き 2枚建	片引き 3枚建
枠	鴨居	1	1	1	1	1	1
	縦枠	2	1	—	2	1	1
	中縦枠	—	1	2	—	1	1
	小縦枠	—	1	2	—	1	1
	上レール	1	1	1	1	1	1

		4枚建	片引き	引分け	3枚建	片引き 2枚建	片引き 3枚建
敷居	敷居	1	1	1	1	1	1
	下レール	2	1	1	3	2	3

		引違い	片引き	引分け	3枚建	4枚建	片引き 2枚建	片引き 3枚建
部品 セット	引違い用	1	—	—	—	—	—	—
	片引き用	—	1	—	—	—	—	—
	引分け用	—	—	1	—	—	—	—
	3枚建用	—	—	—	1	—	—	—
	4枚建用	—	—	—	—	1	—	—
	片引き 2枚建用	—	—	—	—	—	1	—
	片引き 3枚建用	—	—	—	—	—	—	1

■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

<p>引違い・3・4枚建用本体</p> <p>1枚梱包×2：引違い用 1枚梱包×3：3枚建用 1枚梱包×4：4枚建用 (ガラス扉はR・L 1本ずつ1枚梱包) ※4枚建・引分け本体に使用する 召合せパッキンは、枠に同梱さ れています。</p>
<p>引違い・3・4枚建用枠</p> <p>●上レール ●戸当り(2本) ●縦枠(2本) ●鴨居 ●召合せパッキン(3本)(4枚建のみ)</p>
<p>引違い・3・4枚建用ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)</p>
<p>引違い・3・4枚建用敷居</p> <p>●下レール 2本(引違い・4枚建) 3本(3枚建) ●薄敷居 又は ●下レール 2本(引違い・4枚建) 3本(3枚建) ●埋込敷居</p>

<p>片引き用本体</p> <p>1枚梱包×1：片引き用 1枚梱包×2：片引き2枚建用 1枚梱包×3：片引き3枚建用</p>
<p>片引き用枠</p> <p>●上レール ●戸当り(2本) ●小縦枠 ●鴨居 ●中縦枠 ●縦枠 ●目かくし(片引き3枚建のみ)</p>
<p>片引き用ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)</p>
<p>片引き用敷居</p> <p>●下レール 1本(片引き) 2本(片引き2枚建) 3本(片引き3枚建) ●薄敷居 又は ●下レール 1本(片引き) 2本(片引き2枚建) 3本(片引き3枚建) ●埋込敷居</p>

<p>引分け用本体</p> <p>1枚梱包×2 (ガラス扉はR・L 1本ずつ1枚梱包) ※4枚建・引分けに使用 する召合せパッキンは、 枠に同梱されています。</p>
<p>引分け用枠</p> <p>●上レール ●戸当り(2本) ●中縦枠(2本) ●小縦枠(2本) ●鴨居 ●召合せパッキン(3本)</p>
<p>引分け用敷居</p> <p>●下レール ●薄敷居 又は ●下レール ●埋込敷居</p>

■部品セット

〔片引き・引違い用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6本
穴埋めシールシート(NC90/115のみ)	1枚

〔3枚建・片引き2枚建用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	6本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6本

〔引分け・4枚建・片引き3枚建用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	9本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6本

〔引違い・3枚建・4枚建/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	4本
---------------	----

〔片引き・片引き2枚建・片引き3枚建/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	5本
---------------	----

〔引分け/薄敷居用〕

組立て用皿小ねじM4×50	6本
---------------	----

〔引違い・3枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	6本
---------------------	----

〔片引き/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	6本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個

〔引分け/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	9本
中縦枠埋込敷居スペーサー	2個

〔4枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	9本
---------------------	----

〔片引き2枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	6本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個
ポリネートチューブ	1本

〔片引き3枚建/埋込敷居用〕

敷居取付け用なべタッピンねじφ4×40	8本
中縦枠埋込敷居スペーサー	1個
ポリネートチューブ	1本

〔引戸錠セット〕

サムターン本体	1個
サムターン取付け用皿小ねじM3×10	2本

■開口部の作り方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

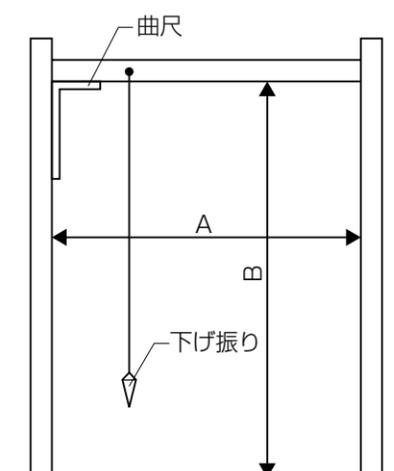
開口寸法A	製品寸法W+10mm
開口寸法B	製品寸法H+5mm

■壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ

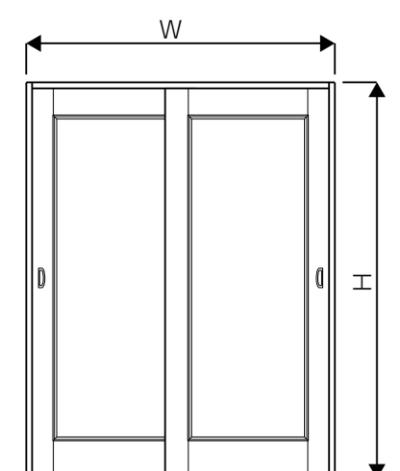
(単位：mm)

	ケーシング(足寸法)	対応壁厚
薄壁用	8	111~121
	14	122~133
	19	134~141
厚壁用	8	142~148
	14	149~160
	19	161~170
3枚建 片引き2枚建	8	146~156
	14	157~168
	19	169~176
片引き3枚建	8	186~196
	14	197~208
	19	209~216

●開口寸法



●製品寸法



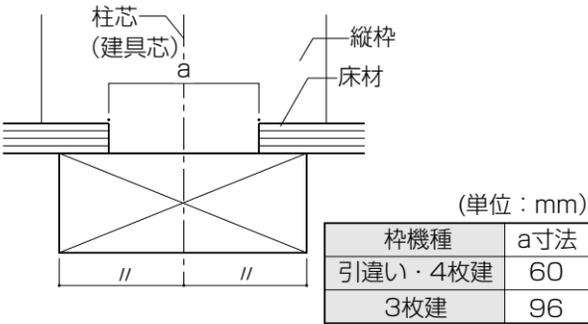
床の張り方

〔床先張り(枠後付け)の場合〕

●引違い・3・4枚建

●床材間に埋込敷居が入りますので、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて、床材を張ってください。

※床材の開口寸法(a寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込敷居が入りにくい原因となります。

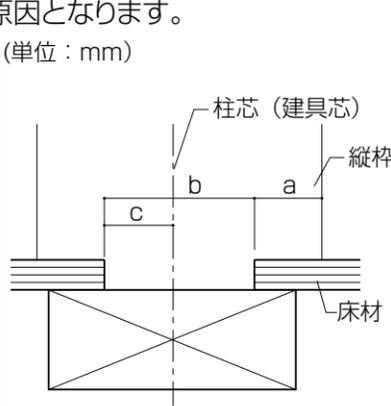


●片引き・引分け

●床材間に埋込敷居が入りますので、柱芯(建具芯)より引込み側にb寸法あけて、床材を張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて、床材を張ってください。

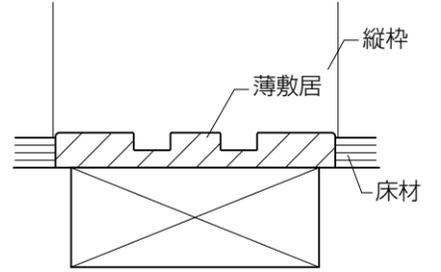
※床材の開口寸法(b寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込敷居が入りにくい原因となります。

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法	(単位: mm)
NC90	15	30	0	
NC115	27.5	30	0	
NC156	48	30	0	
NC171	63	30	7.5	
NC180	72	30	12	
C付115(薄壁用)	27.5	30	0	
C付142(厚壁用)	54.5	30	13.5	
NC片引き2枚建	37	60	7	
NC片引き3枚建	31.5	96	22.5	
C付片引き2枚建	27.5	60	12.5	
C付片引き3枚建	32	96	33	



〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。



取付け順序

1 枠の組立て

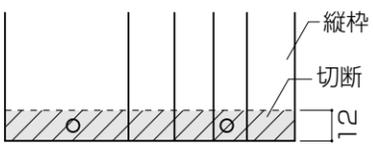
〔床先張り(枠後付け)の場合〕

※埋込敷居を使用してください。

●下図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

〔A部詳細図〕

※縦枠(斜線部)を切断してください。切断する際は、下部に付いている部品を外してください。切断後は、この部品は不要です。



〔埋込敷居〕

●片引き



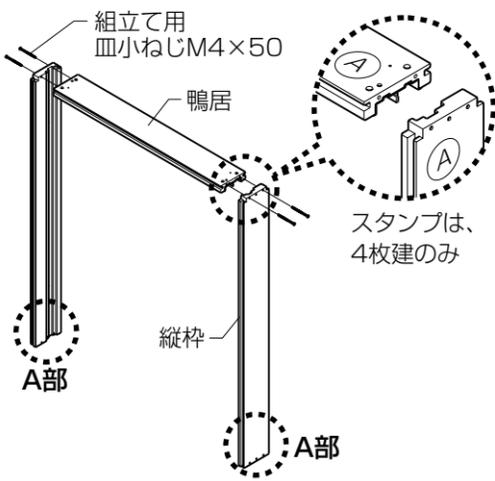
●引違い・片引き2枚建



●3枚建・片引き3枚建

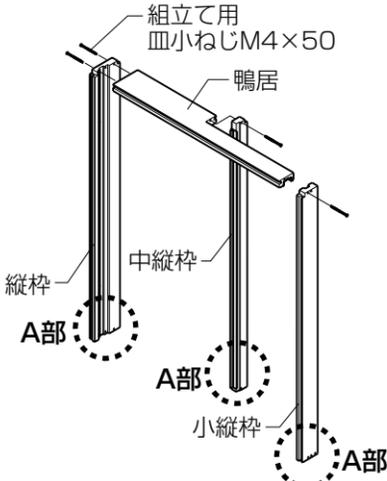


●引違い枠



※4枚建は、同じ記号を組合せてください。

●片引き枠



●枠組立て上のお願
※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締込んでください。

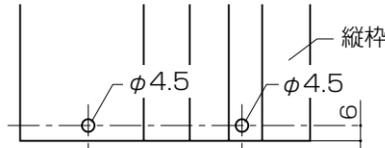
〔床後張り(枠先付け)の場合〕

※薄敷居を使用してください。

●下図のように、各部材を組み合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

〔B部詳細図〕

※縦枠(下穴加工済み)を切断せずに使用してください。



〔薄敷居〕

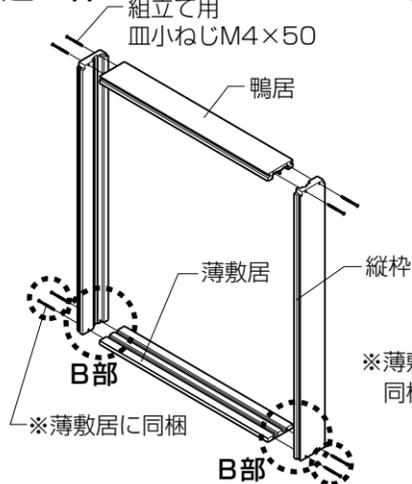
●片引き



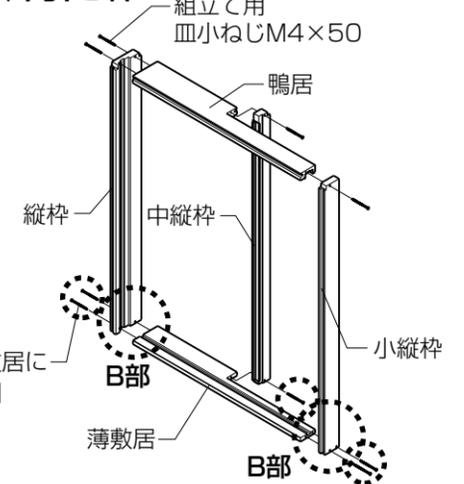
●引違い



●引違い枠

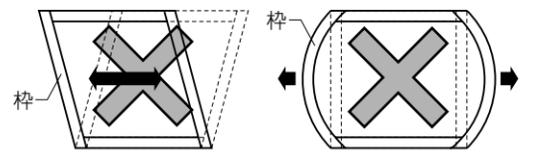


●片引き枠



●枠組立て上のお願

※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



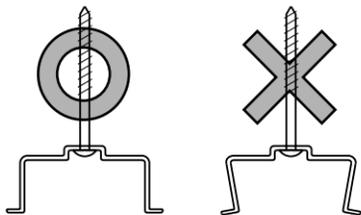
2 枠の取付け

開口部と、縦枠(中縦枠・小縦枠)・上枠との間にかい木を入れて取付けます。

●枠取付け上のお願

※片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから施工してください。

※鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを变形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

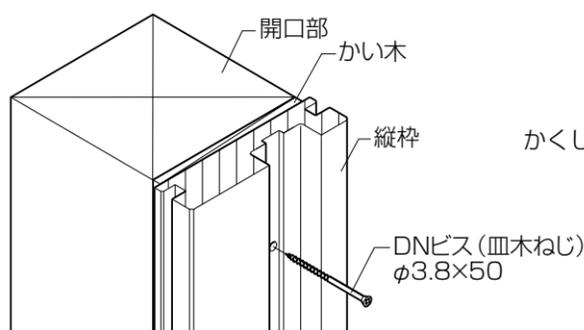


●鴨居

※鴨居はトラスタッピンねじφ4×50で固定してください。

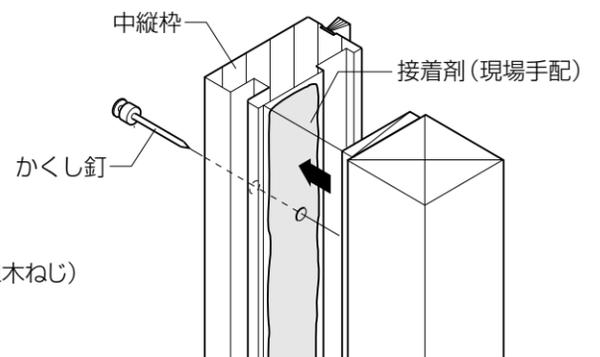
●縦枠・小縦枠

※DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。



●中縦枠

※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。

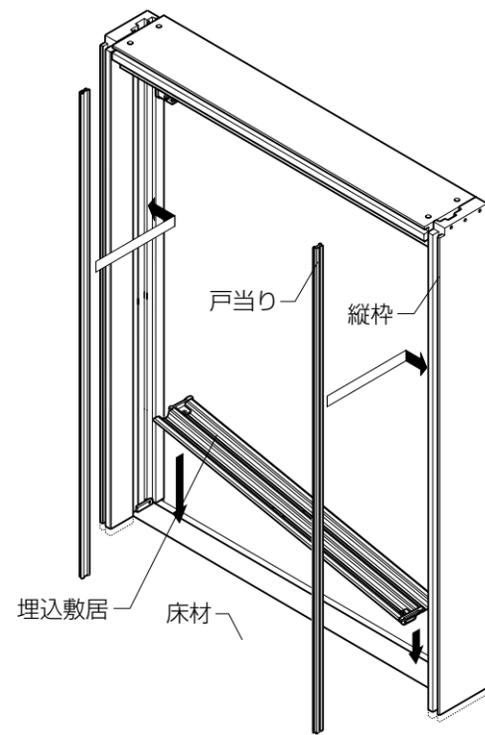
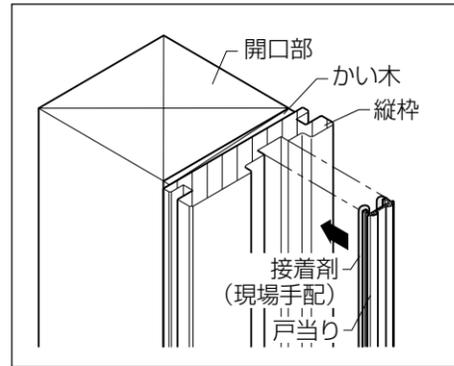
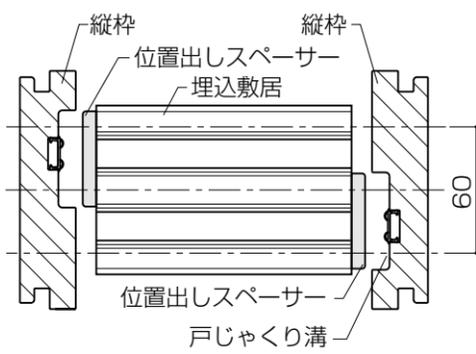


〔埋込敷居の取付け〕

●引違い枠

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)

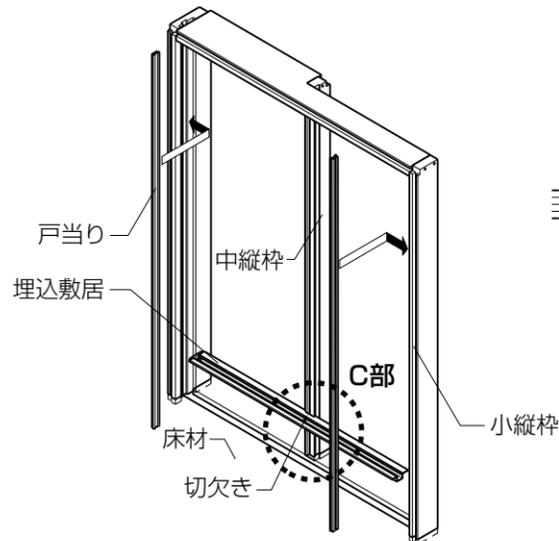
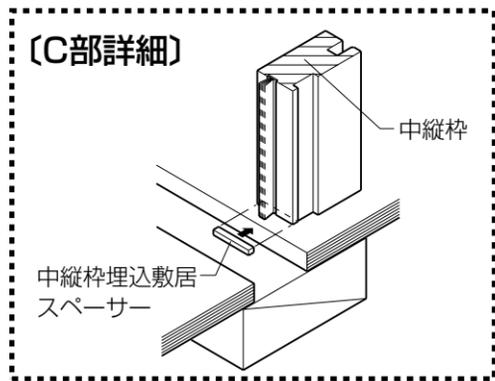
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ②同梱のねじで固定します。
 - ③戸当りを接着剤(現場手配)で取付け、溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



●片引き枠

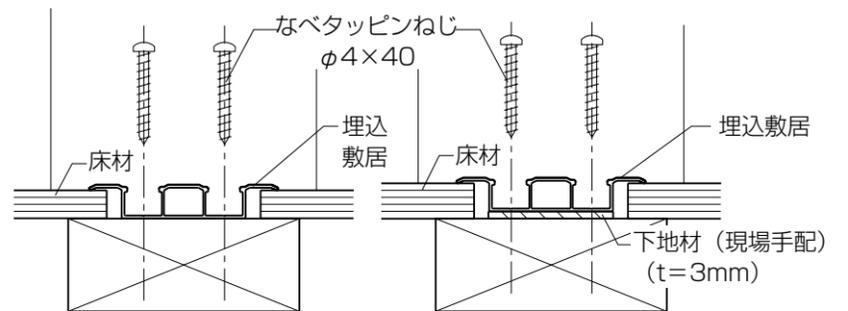
(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)

- ①埋込敷居同梱の中縦枠埋込敷居スペーサーを中縦枠のすき間に入れてください。
※片引き2・3枚建の敷居スペーサーは、部品セット内のポリネートチューブ(接着剤)で固定してください。
- ②埋込敷居の切欠きを中縦枠に合わせます。
※以下は引違い枠を参照してください。



●床材厚さ12mm

●床材厚さ15mm



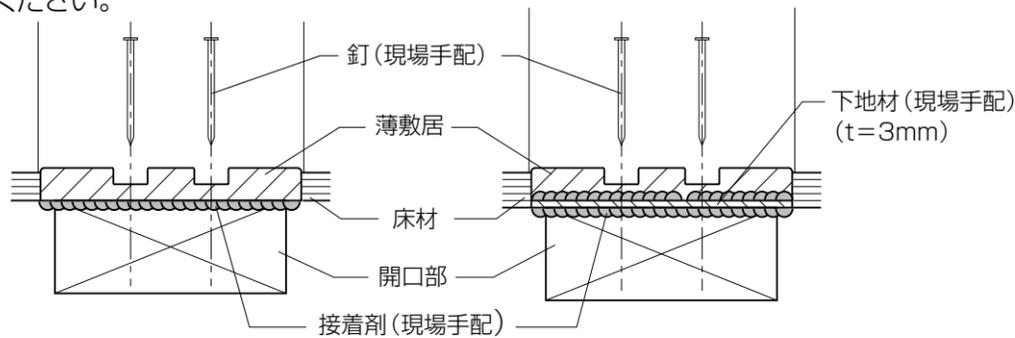
〔薄敷居の取付け〕

●床材厚さ12mm

- ※必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。
※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤(現場手配)と併用して取付けてください。

●床材厚さ15mm

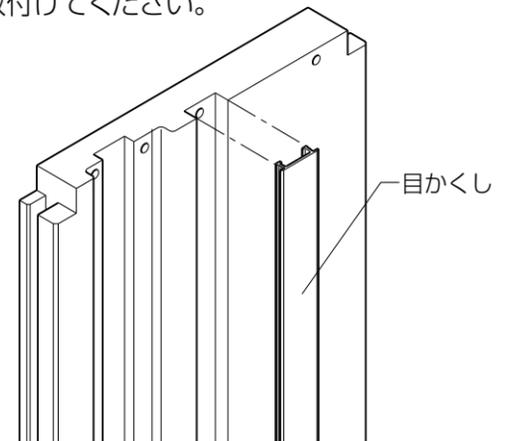
- ※必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



〔目かくしの取付け〕

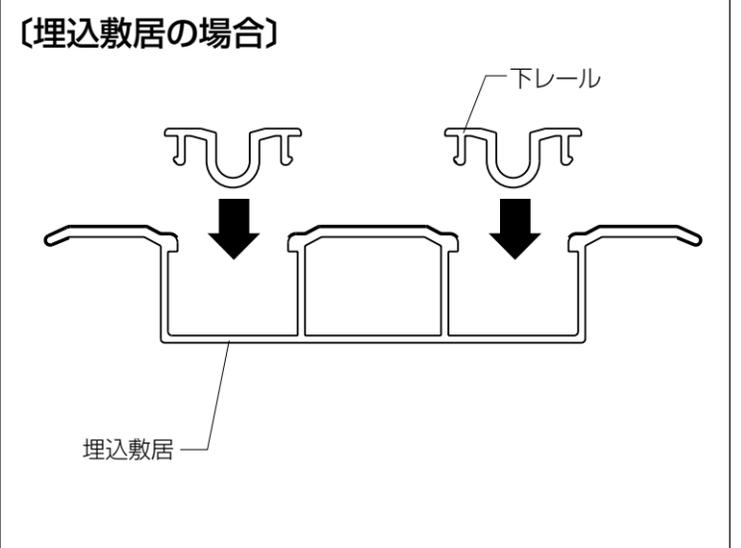
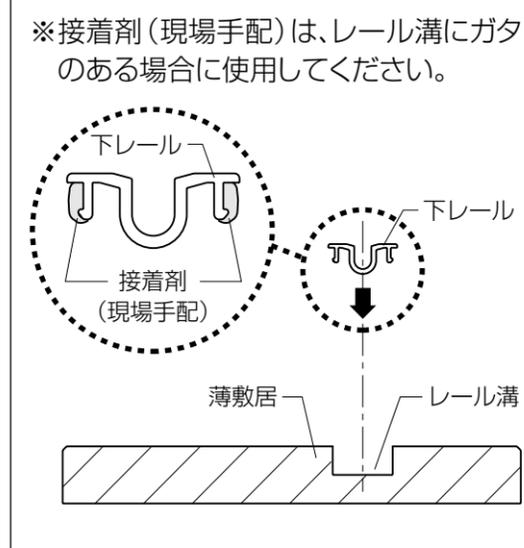
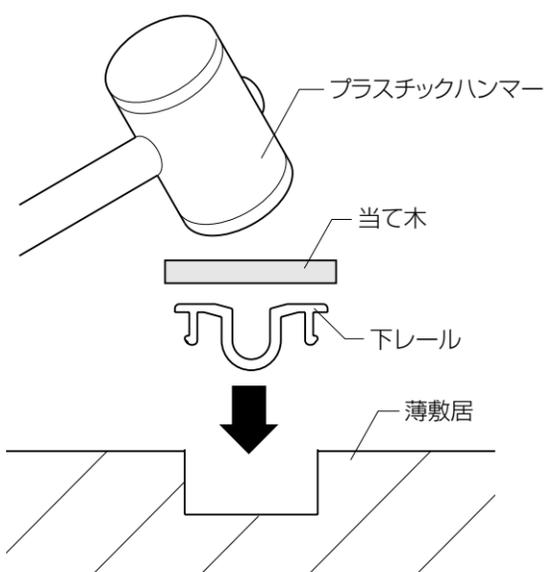
※片引き3枚建のみ

- 縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。



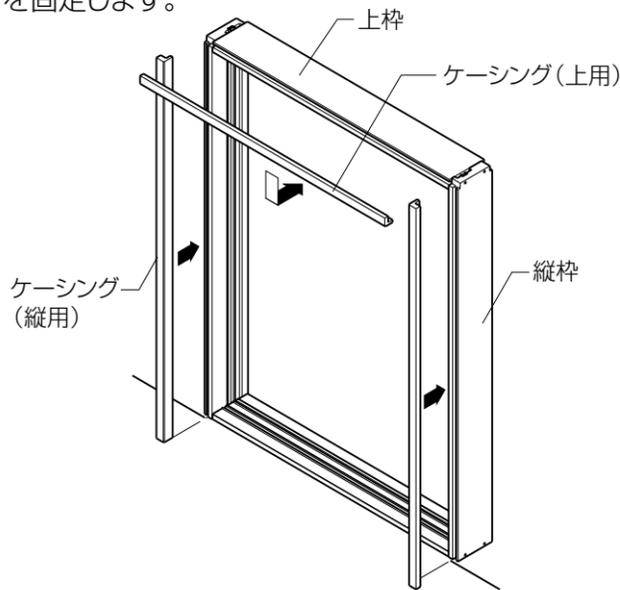
③ 下レールの取付け

- 敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



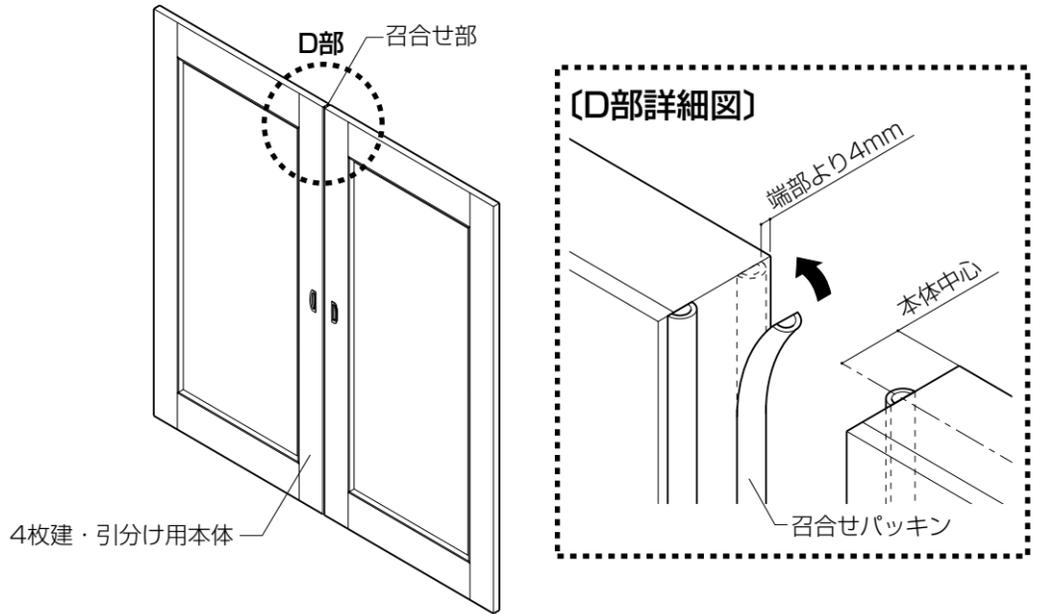
4 ケーシングの取付け (ケーシングタイプのみ)

- ※壁材・床材を仕上げしてからケーシングを取付けてください。
- ①別梱のケーシングを現場寸法に合わせて切断します。(上用ケーシングは、枠に合わせてあらかじめカットしてあります。)
 - ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシングを固定します。



■ 召合せパッキンの取付け (4枚建・引分けのみ)

- ※4枚建・引分け用本体の召合せ部に、枠に同梱の召合せパッキンを取付けます。召合せパッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押して張付けてください。(召合せパッキンは枠のダンボールに入っています。)

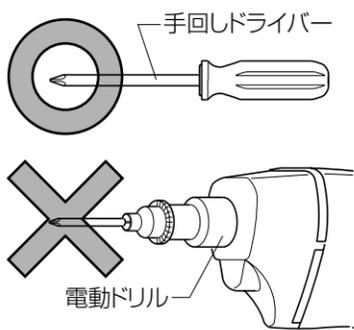


■ 建付け調整

● 本体には、上下方向、左右方向およびブレーキ力の調整機能が付いています。

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。

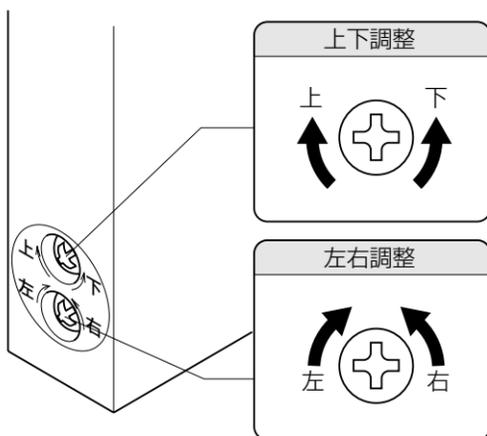
※電動ドリルは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。



〔上下調整(調整幅+4mm、-2mm)〕

※鴨居に5mm以上かかるよう調整してください。

- ①本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ②調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか確認してください。

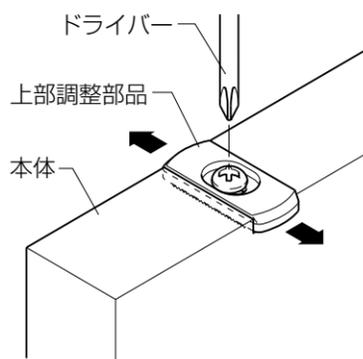


▲ 注意

- 本体と鴨居へのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、5ページの建付け調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

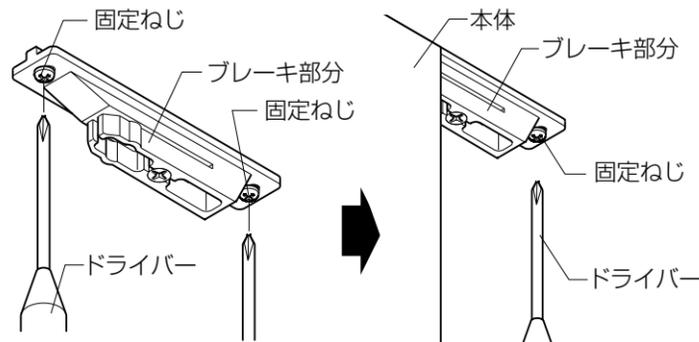
〔左右調整(調整幅±2mm)〕

- ①本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。
- ②本体上端の上部調整部品のねじをゆるめ、①で調整した分だけ上部調整部品をずらし、ねじを締め直します。(本体が常に垂直になるように調整してください。)



〔ブレーキの左右調整〕

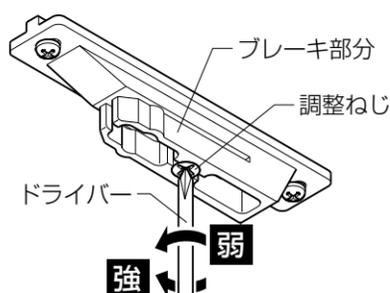
本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、下図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



〔ブレーキ力調整〕

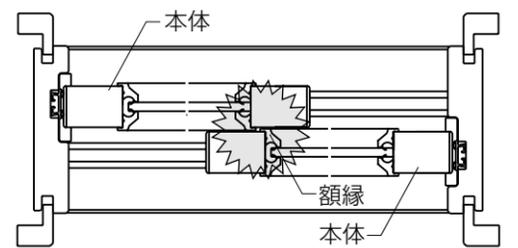
上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。

● ブレーキ力調整上のお願ひ……
※調整ねじを弱方向に回す場合は、ブレーキの表面よりねじ頭を1.5mm以上出さないように調整してください。

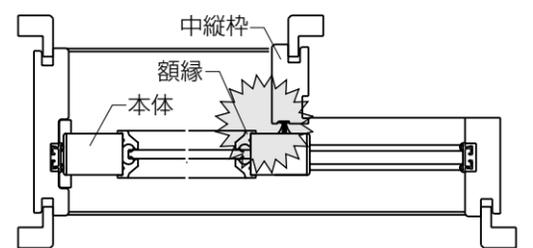


※左右調整する場合は、本体同士がぶつからないようご注意ください。又、本体と中縦枠モヘアが接触しすぎて、開閉が重くならないよう調整してください。

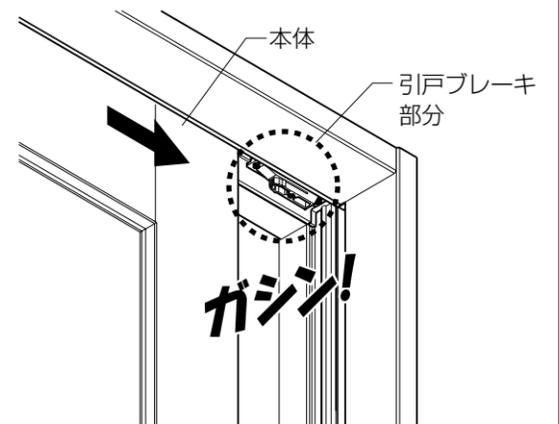
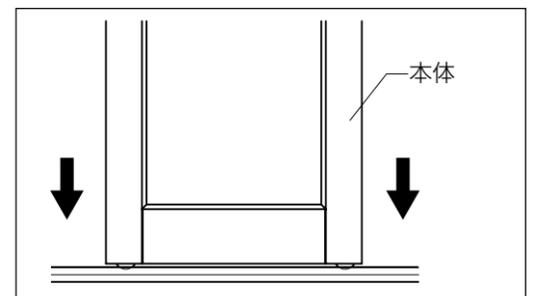
● 引違い・3枚・4枚建



● 片引き・引分け

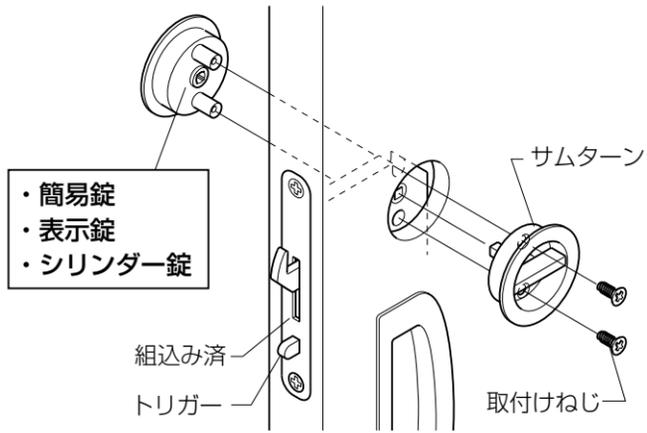


● 本体がブレーキ部品にあたる時は、上下調整ねじを回して本体を下げてください。



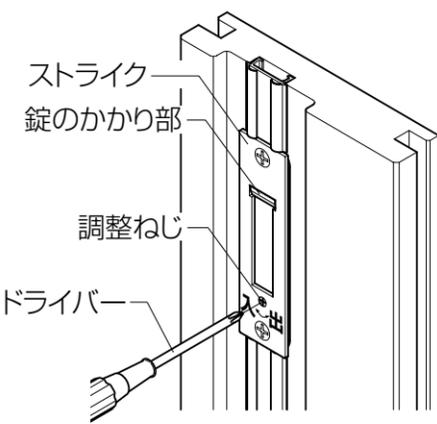
■引戸錠（サムターンの取付け）

別売りの錠を下図のように組立ててください。
※取付けねじを締める時に、いったんトリガーを押えて閉状態にしてから取付けてください。



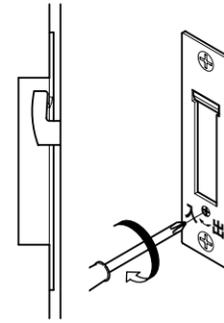
〔引戸錠のかかり調整〕

ストライクの調整ねじを左に回すと錠のかかり部が出て、右に回すと錠のかかり部が奥に入ります。



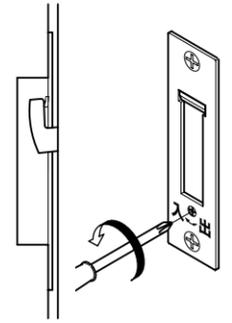
●本体と枠のすき間が大きい場合

調整ねじを右に回して調整してください。



●錠がかかりにくい場合

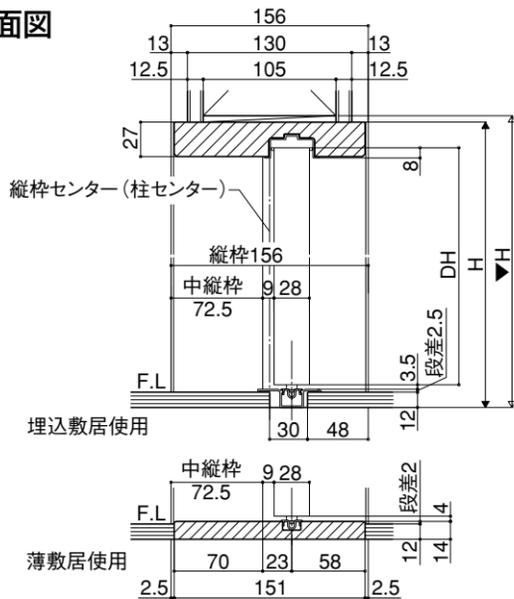
調整ねじを左に回して調整してください。



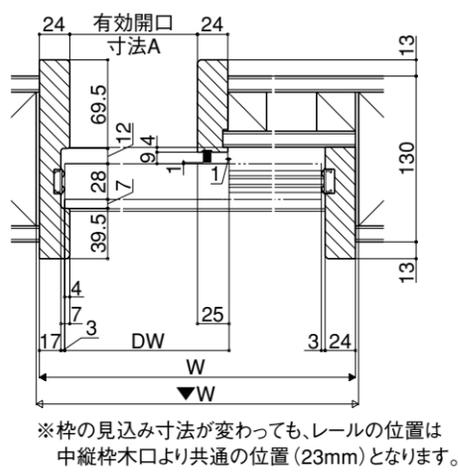
■納まり図

■室内引戸 Vレール方式 片引戸 ノンケーシング

縦断面図



横断面図



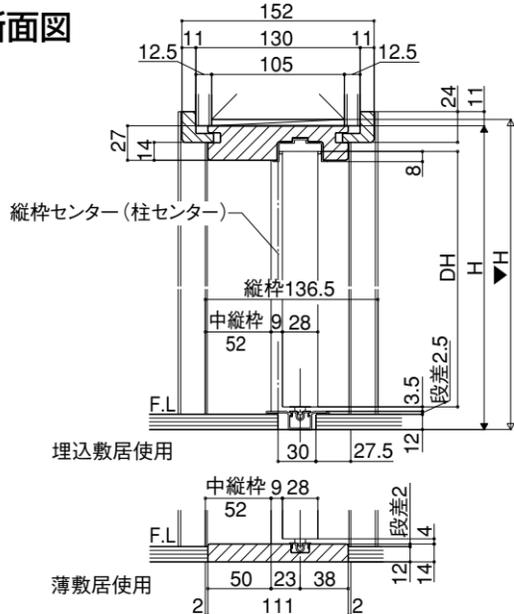
基本寸法 (mm)	W呼称	12	13	14	16	18
	W	1192	1324	1478	1644	1824
	H呼称	20				
	H	2035				

※枠見込み90/115用について、W13、W18の設定はありません。

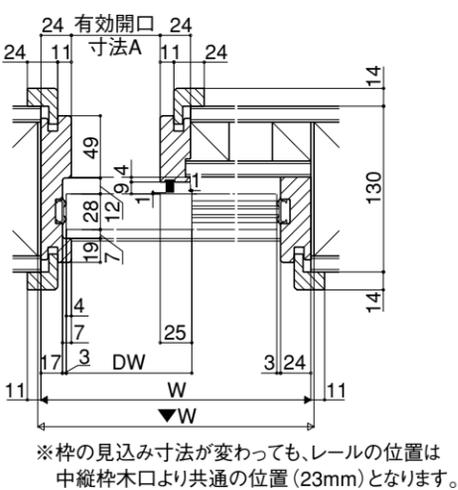
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W12 (1192)	556
W13 (1324)	622
W14 (1478)	699
W16 (1644)	782
W18 (1824)	872

■室内引戸 Vレール方式 片引戸 ケーシング付

縦断面図



横断面図

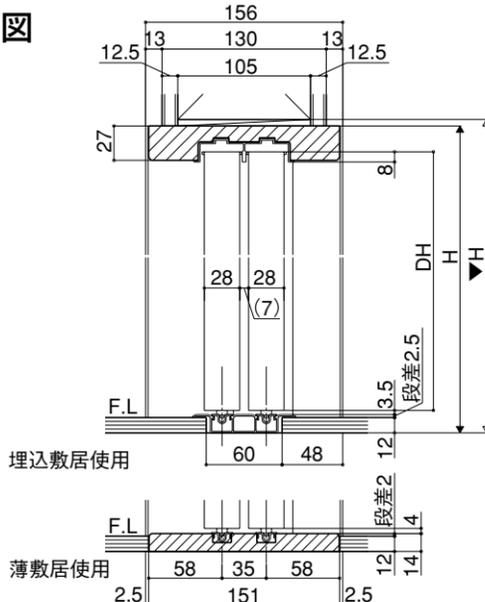


基本寸法 (mm)	W呼称	12	13	14	16	18
	W	1192	1324	1478	1644	1824
	H呼称	20				
	H	2035				

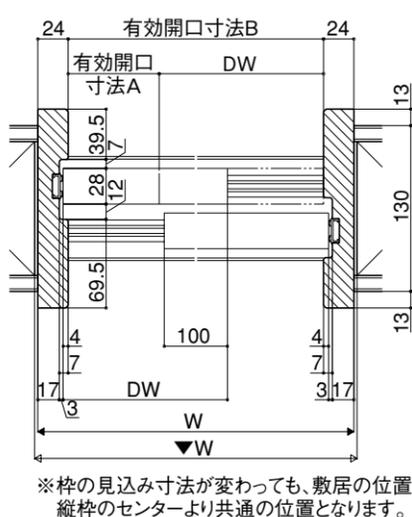
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W12 (1192)	556
W13 (1324)	622
W14 (1478)	699
W16 (1644)	782
W18 (1824)	872

■室内引戸 Vレール方式 引違い戸2枚建 ノンケーシング

縦断面図



横断面図



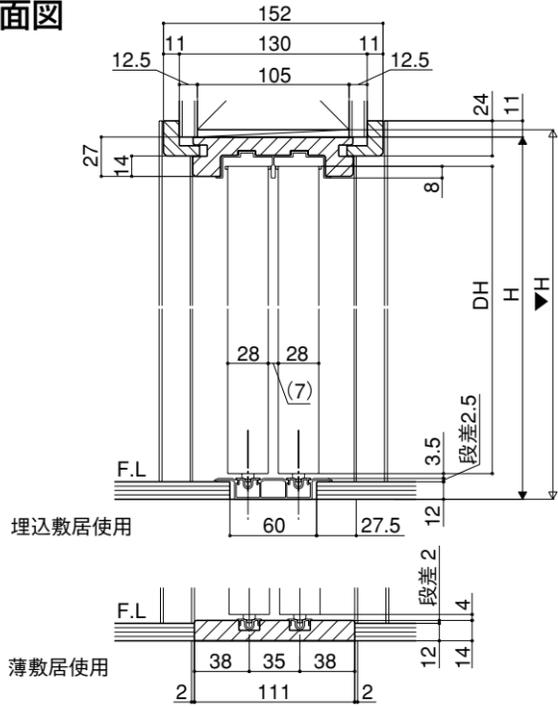
基本寸法 (mm)	W呼称	16	18
	W	1644	1824
	H呼称	20	
	H	2035	

※枠見込み90/115用について、W18の設定はありません。

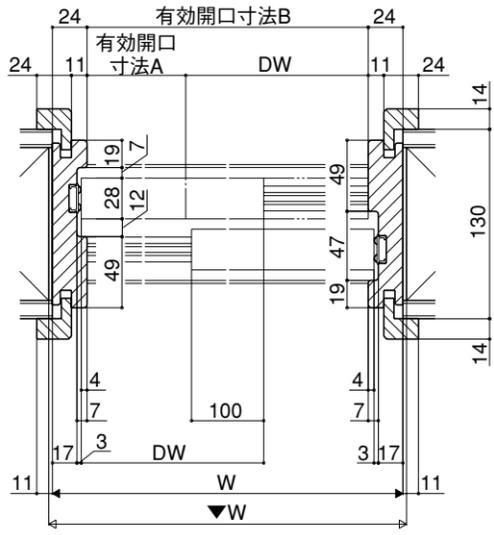
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	744	1596
W18 (1824)	834	1776

■室内引戸 Vレール方式 引違い戸2枚建 ケーシング付

縦断面図



横断面図

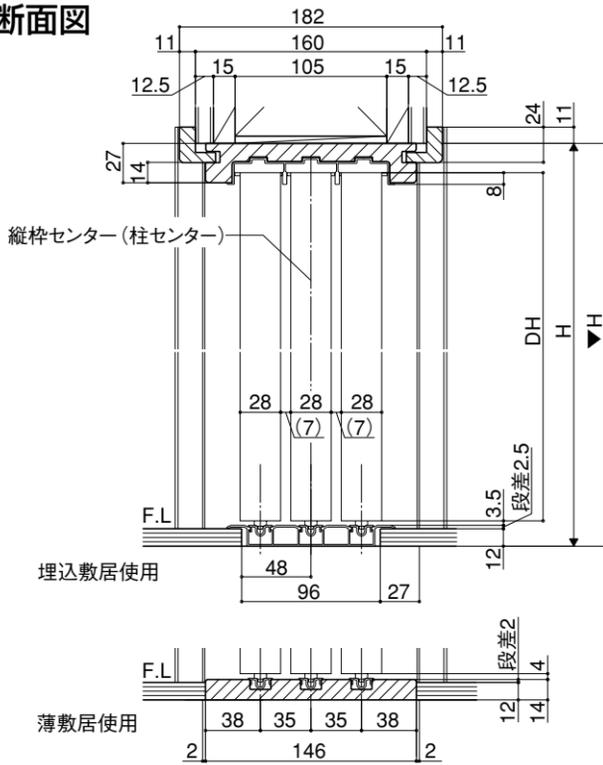


基本寸法 (mm)	W呼称	16	18
	W	1644	1824
	H呼称	20	
	H	2035	

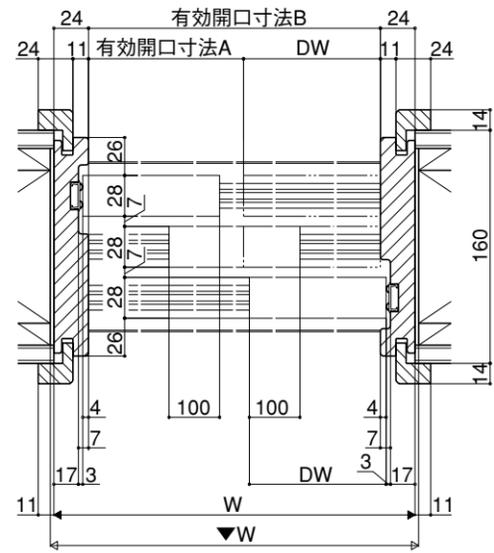
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16 (1644)	744	1596
W18 (1824)	834	1776

■室内引戸 Vレール方式 引違い戸3枚建 ケーシング付

縦断面図



横断面図

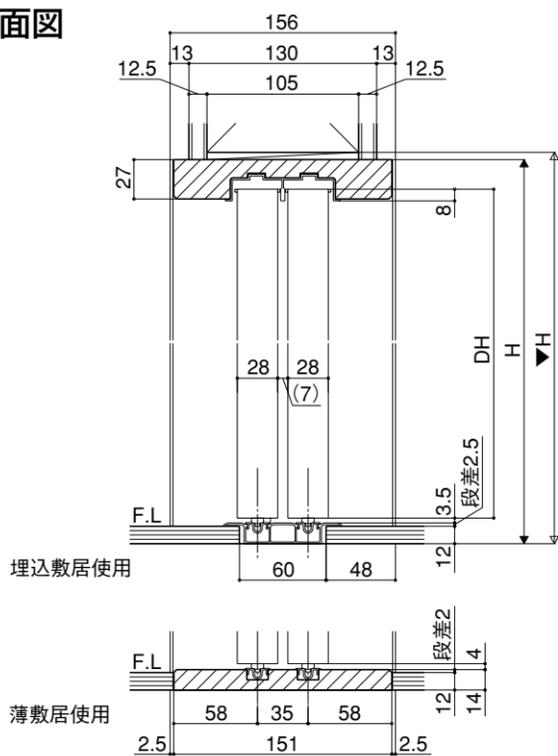


基本寸法 (mm)	W呼称	24
	W	2396
	H呼称	20
	H	2035

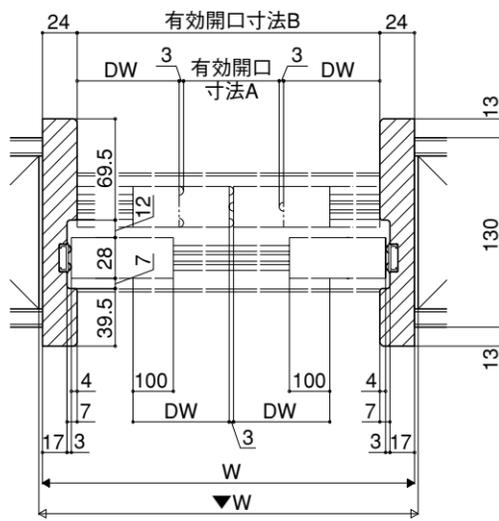
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W24 (2396)	1496	2348

■室内引戸 Vレール方式 引違い戸4枚建 ノンケーシング

縦断面図



横断面図

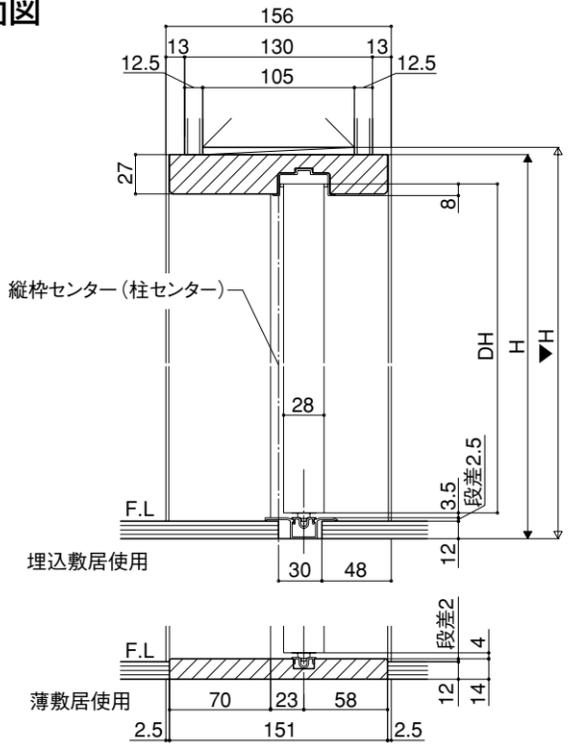


基本寸法 (mm)	W呼称	25	32
	W	2447	3251
	H呼称	20	
	H	2035	

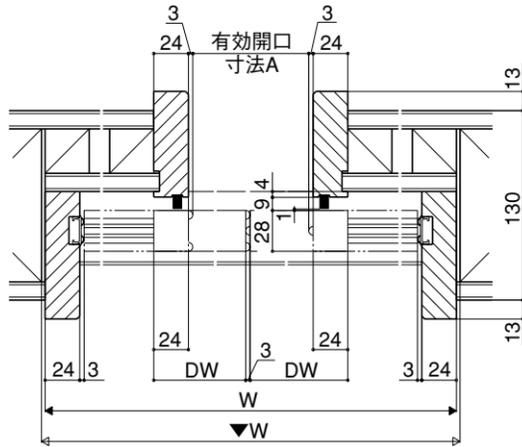
W呼称 (枠外寸法)	A寸法	B寸法
W25 (2447)	1091	2399
W32 (3251)	1493	3203

■室内引戸 Vレール方式 引分け戸 ノンケーシング

縦断面図



横断面図



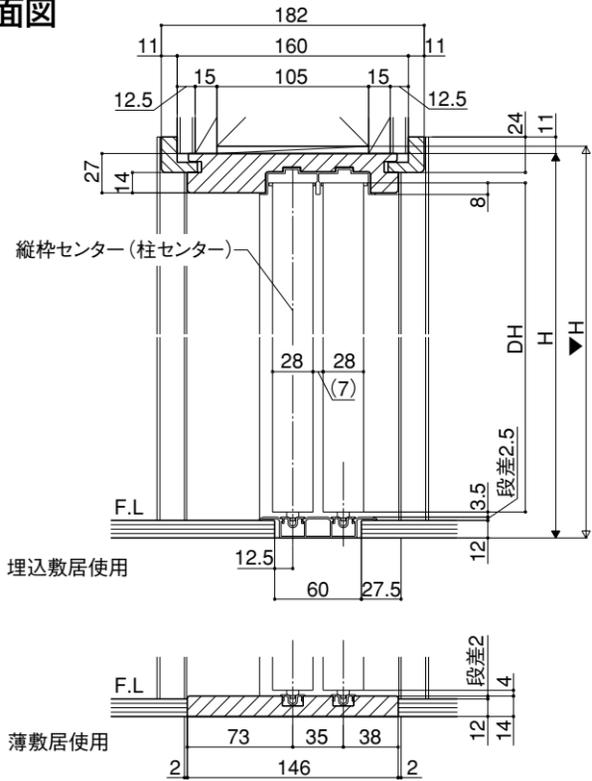
※枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置(23mm)となります。

基本寸法 (mm)	W呼称	34
	W	3417
	H呼称	20
	H	2035

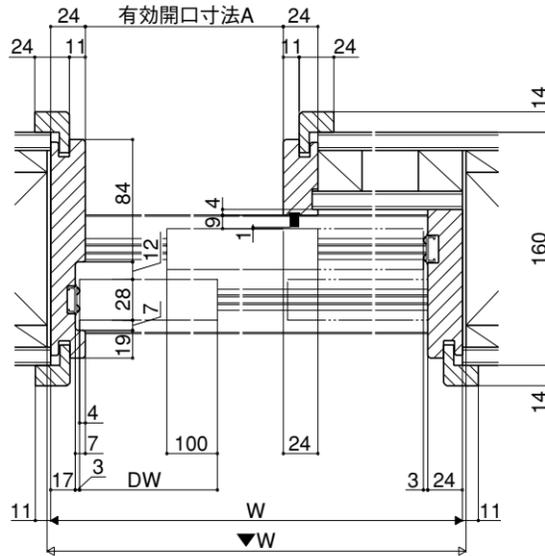
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W34 (3417)	1653

■室内引戸 Vレール方式 片引戸2枚建 ケーシング付

縦断面図



横断面図

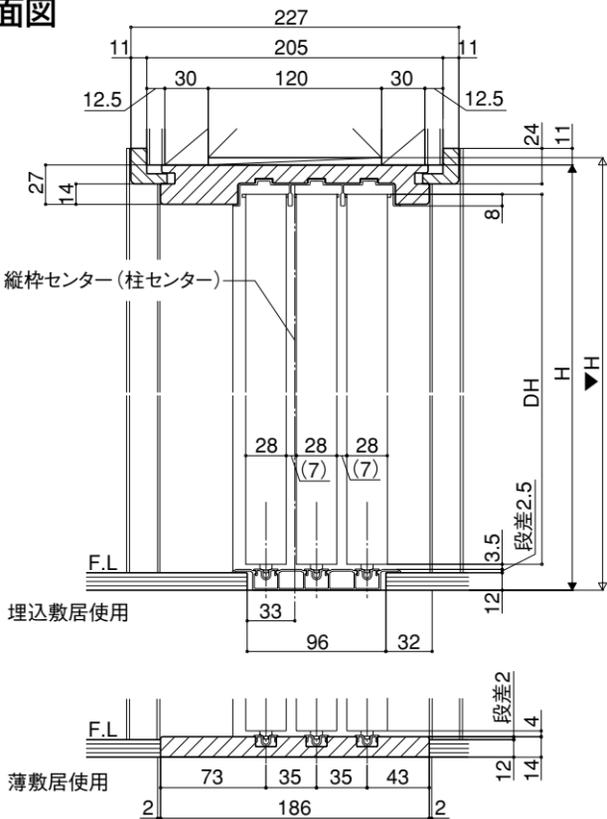


基本寸法 (mm)	W呼称	25
	W	2479
	H呼称	20
	H	2035

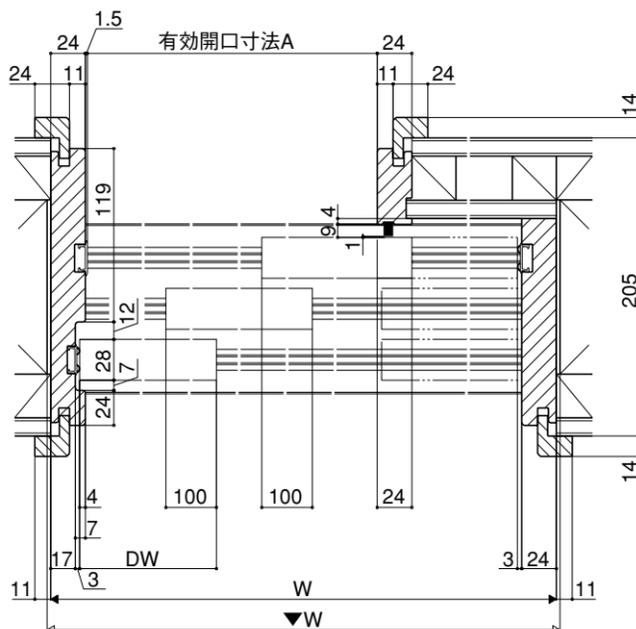
W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W25 (2479)	1576

■室内引戸 Vレール方式 片引戸3枚建 ケーシング付

縦断面図



横断面図



基本寸法 (mm)	W呼称	32
	W	3231
	H呼称	20
	H	2035

W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W32(3231)	2326.5